

新型コロナウイルス感染症対策
ガイドライン
【りんご・なし狩り用】

2020（令和2）年8月

（一社）南信州まつかわ観光まちづくりセンター
松川町
信州松川くだもの観光協会

1. 目的

新型コロナウイルス感染症対策に関して、各種規制等が緩和される状況となった場合に、当地域での観光事業の再開が求められていくこととなる。

ワクチン接種等根本的対策がなされるまでの間（ウィズコロナ）の観光受け入れに関し、受け入れ事業者と観光客の皆様、そして地域の皆様の健康と安全を最大限確保するために、観光産業に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを規定する。

2. 観光受け入れ条件

観光受け入れは、次の2つの条件を満たした場合とする。

- 長野県内の緊急事態宣言が解除されている。
- 長野県からの休業の要請が行われていない。

3. 適用業態

次の5業態ごとに、それぞれの施設やサービス内容に即した個別のガイドラインを作成し、観光受け入れに向けた感染防止対策を講じることとする。

- 観光案内所
- くだもの狩り
- 体験プログラム
- 宿泊施設
- 飲食店

4. 適用期間

当予防策は、日本国内において新型コロナウイルスに対するワクチン接種等の根本的対策がなされ、正常な社会活動が営まれる状態になるまでとする。

なお、状況に応じて適宜本ガイドラインは見直すこととする。

5. 感染防止対策

(1)共通項目

<受け入れ側の事業者が取り組むこと>

項目	内容
健康状態の確認	日々の健康状態を把握するとともに、風邪のような症状（喉の痛み、咳、痰、鼻水、だるさ、息苦しさ等）がないか確認する。
検温	日々検温を行い、平熱より 0.5℃以上高い場合は業務に従事しない。
マスクの着用	マスクを正しく着用（鼻柱から下あごまですべて覆う。ノーズフィッターを使いマスクの上縁を鼻と頬に密着させる。鼻出しは NG。）し、咳エチケットを徹底する。
手洗いおよび消毒	こまめに正しい手洗いおよびアルコール消毒を行う。
特定警戒都道府県及び長野県感染警戒レベル3地域への移動	・特定警戒都道府県及び長野県感染警戒レベル3（域内まん延期）地域へはできる限り移動しない。 ・やむを得ない事情で移動する場合は、できるだけ公共交通機関の利用は避け、混雑した時間帯は避ける。（=人との接触を可能な限り避ける）

<観光客の皆様に取り組んでいただきたいこと>

項目	内容
検温	当地域来訪前（あるいは滞在中）に検温を行い、平熱より 0.5℃以上高い場合には、来訪（あるいはサービスの利用）をご遠慮いただく。
風邪のような症状がみられる場合	風邪のような症状（喉の痛み、咳、痰、鼻水、だるさ、息苦しさ等）がみられる方は、来訪（あるいはサービスの利用）をご遠慮いただく。
マスクの着用	マスクを正しく着用（鼻柱から下あごまですべて覆う。ノーズフィッターを使いマスクの上縁を鼻と頬に密着させる。鼻出しは NG。）し、咳エチケットを徹底する。（可能な限り当日のマスク着用を事前に依頼しておく）
手洗いおよび消毒	こまめに正しい手洗いおよびアルコール消毒を行う。
特定警戒都道府県及び長野県感染警戒レベル3地域からの来訪	特定警戒都道府県及び長野県感染警戒レベル3（域内まん延期）地域にお住まいの方は来訪をご遠慮いただく。

(2)「くだもの狩り体験」における感染防止対策

<りんご・なし狩り編>

場面	予防策	内容
事前	使用備品及び共用部分の消毒	<p>・使用備品（ナイフ、皿、皮入れバケツ、収穫カゴ）及び共用部分（テーブル、イス、手洗い場の蛇口、トイレ、各種ドアノブ、園内脚立等）については、体験受入前に消毒を行う。</p> <p>・備品はできるだけ共用しないで済むよう、個人ごとに用意する。</p> <p><消毒方法について></p> <p>○使用備品：洗剤（界面活性剤）*による洗いでOK。</p> <p>○共用部分：洗剤（界面活性剤）*による洗いでOK。または塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）を濃度0.05%に薄めた上で拭くとよい（ハイター・ブリーチなど）。金属は腐蝕するので、次亜塩素酸ナトリウム液で拭いた後、水拭きすること。</p> <p>*洗剤（界面活性剤）…独立行政法人製品評価技術基盤機構が公表している「有効と判断された界面活性剤を含む家庭用洗剤のリスト」参照</p>
	消毒できる環境の整備	入り口に手指のアルコール消毒設備を設置する。
	予防策の表示	目につきやすいところに「事業者宣言書」および「来訪者向け啓発ポスター」を掲示する。
	トイレの流し方の表示	用を足した後は便器のフタを閉めてから水を流すよう（飛沫飛散防止）、注意喚起の表示を貼っておく。
	トイレ内への消毒液の設置	トイレ内に手洗い所がない場合、消毒した手でドアを開けて外に出るよう消毒液をトイレ内に設置しておく。

受付時	飛沫防止パネルの設置	受付テーブルにプラスチック板またはビニール幕の仕切りを設けて対応する。 ※フェイスシールドの着用でもよい。
	ソーシャルディスタンスの確保	受付テーブルの前では 1~2m の距離を保って並んでいた く。 ※家族など普段から一緒にいる方同士は、ソーシャルディスタンスを確保する必要はない。
	健康状態の確認	・入園カードに必要事項（日付、時間、氏名、連絡先、体調不良の有無、体温）を記入していただく。 ・体調不良や風邪のような症状などがある方、熱っぽさを感じる方、体温が平熱より 0.5℃以上高い方には参加をご遠慮 いただく。 ※体温は、非接触体温計を使い検温する、あるいは事前に測 ってきた体温を記入していただく。
	マスクの着用	体験中はマスクを正しく着用していただく。 ※鼻柱から下あごまですべて覆う。ノーズフィッターを使い マスクの上縁を鼻と頬に密着させる。鼻出しは NG。マスク はお客様持参。
	手洗いおよび消毒	体験開始前には、手洗いおよび手指のアルコール消毒をして いただく。
収穫時	マスクの着用	収穫時はマスクを正しく着用していただく。（口や鼻に触れ た手で他の実や葉などに触れないようにしていただく）
	収穫と食べる時間の切り分け	りんご（なし）を採りながら食べることは遠慮していただく。 採る時間と食べる時間を明確に分け、食べたら手指をアルコ ール消毒してから採りに行っていただく。
	ソーシャルディスタンスの確保	適度な距離を保てるよう必要に応じて園内での人数制限を 行う。また、一人に割り当てる木（あるいはエリア）を指定 する（常に 1~2m の間隔を保っていただく）。 ※家族など普段から一緒にいる方同士は、ソーシャルディスタ ンスを確保する必要はない。
	換気	園内、ハウス内、建物内等、お客様が利用するスペースは常 時換気を行う。

飲食時	ソーシャルディスタンスの確保	<p>食べるときは適度な距離を保っていただく。</p> <p>※ソーシャルディスタンスとして1～2m(互いに手が届かない距離)を確保し、テーブルでは向かい合わない、一方向に向くまたは対角線に座るなど。</p> <p>※家族など普段から一緒にいる方同士は、ソーシャルディスタンスを確保する必要はない。</p>
	手指の消毒	<p>飲食前には、アルコールによる手指消毒をしていただく。飲食後も同様。</p> <p>※園内に共用のアルコール消毒液を用意する、またはグループごとに携帯用アルコールスプレーをお渡しするなどして対応。</p> <p>※手指消毒はアルコールを噴霧するだけでなく、手のひらにアルコールの液を取って、指先まで十分に塗り広げる必要がある。正しい手指消毒を啓発する。</p>
	食べかすの処理	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様には、りんご(なし)の皮や種、食べかすなどを、口の中の粘液や飛沫が飛ばないように注意しながら、指定された容器に静かに入れていただく。 ・お客様から園側に返却された食べかす入りの容器は、処理するまでの間はフタをして(あるいはビニール袋に入れて密閉)飛沫が飛ばないようにして保管しておく。
	トイレの清掃・消毒	<p>床、便器、ドアノブを頻繁に清掃・消毒するようにする。(できるだけグループの入れ替えごとに行う)</p>
事後	食べかすの処理	<p>マスクと使い捨て手袋を着用し、食べかすをまとめて畑の決められた場所に埋める(土中の微生物がウイルスを分解する)。食べかすが入っていた容器は界面活性剤(洗剤)で洗浄する。</p> <p>※食べかすには唾液が付いているので、感染の可能性があると考えて処理する必要がある。食べかすを扱うときはマスクと使い捨て手袋を使用すること。</p>

	<p>使用備品及び共用部分の消毒</p>	<p>使用備品（ナイフ、皿、皮入れバケツ、収穫カゴ）及び共用部分（テーブル、イス、手洗い場の蛇口、トイレ、各種ドアノブ、ハウス内脚立等）の消毒を行う。</p> <p><消毒方法について></p> <p>○使用備品：洗剤（界面活性剤）*による洗いでOK。</p> <p>○共用部分：洗剤（界面活性剤）*による洗いでOK。または塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）を濃度 0.05%に薄めた上で拭くとよい（ハイター・ブリーチなど）。金属は腐蝕するので、次亜塩素酸ナトリウム液で拭いた後、水拭きすること。</p> <p>*洗剤（界面活性剤）…独立行政法人製品評価技術基盤機構が公表している「有効と判断された界面活性剤を含む家庭用洗剤のリスト」参照</p>
--	----------------------	--

(3) 「直売所」における感染防止対策

場面	予防策	内容
開店準備	飛沫防止パネルの設置	受付カウンターにプラスチック板またはビニール幕の仕切りを設置する。 ※フェイスシールドの着用でもよい。
	使用備品及び共用部分の消毒	人の手が触れる可能性がある箇所のアルコール消毒。 ※各ドアノブ、トイレ、手洗い場の蛇口、テーブル、イス等
	ソーシャルディスタンスの確保	来訪者が互いに距離（1～2m）を取れるように、床にマーキングをしたり促したりする。 ※家族など普段から一緒にいる方同士は必ずしも距離を取る必要はない。
	消毒できる環境の整備	入り口に手指のアルコール消毒設備を設置する。
	予防策の表示	目につきやすいところに「事業者宣言書」および「来訪者向け啓発ポスター」を掲示する。
	トイレの流し方の表示	用を足した後は便器のフタを閉めてから水を流すよう（ウイルス飛散防止）、注意喚起の表示を貼っておく。
	トイレ内への消毒液の設置	消毒した手でドアを開けて外に出られるようトイレ個室内にアルコール消毒を設置しておく。 ※個室から出て、洗面所にて石けんで手を洗っていただく。
	来店時	換気
消毒のお願い		お客様に入室の際に、手指のアルコール消毒を依頼する。 ※噴霧するだけでなく、手のひらに取って手指全体に塗り拡げるよう掲示する。
マスク着用をお願い		お客様に正しいマスクの着用をお願いする。 ※鼻柱から下あごまでを全て覆い、鼻の頭を露出させないよう、必要に応じて声掛けをする。

	受付記録	<p>お客様に来訪日時、氏名、連絡先、体温を記入していただく。</p> <p>※体温は、非接触体温計を使い検温する。</p> <p>※マスクを正しく着用された方が、短時間（概ね 10 分以内）滞在されるだけなら記録の必要はない。</p>
	ソーシャルディスタンスの確保	<p>互いに 1～2m の対人距離をとっていただくよう、床にマーキングをしたり促したりする。</p> <p>※家族など普段から一緒にいる方同士は必ずしも距離を取る必要はない。</p>
	共用機会の回避	<p>一度手に取って触った商品は、なるべく元に戻さないように依頼する。ただし、売店内に入る際に指先まで正しく手指消毒をし、その後、口や鼻などを触っていなければその限りではない。</p> <p>※万が一、予防策を取らないお客様が一度手にした商品を戻された場合には消毒を行う。</p>
試食・試飲への対応	飛沫防止・共用機会の回避	<p>【試食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニール手袋をした状態でくだものをカットし、フタ付きの容器に入れてくだものを用意。提供時にフタを外し、事業者が楊枝を刺して試食していただく。共通の容器からお客様が楊枝を取ることはしない。使い終わった楊枝は専用のゴミ袋に入れていただく。 ・お客様がくだものを共通の容器から取り、ナイフで皮をむくなどして試食する場合は、一度手に取って触ったものは戻さないように依頼する。 ・ぶどうなど皮ごと口に入れるくだもの試食は、ビニール手袋をした状態で、お客様ごとに個別にお出しする。 <p>※園主側は試食準備・提供前には手洗いおよびアルコールによる手指消毒をする。お客様には試食前、アルコールによる手指消毒をしていただく。</p> <p>【試飲】</p> <p>園主側が個別に紙コップなどに注いで提供する。あるいは、お客様自らに注いでいただく場合には、アルコールによる手指消毒をしてからジュース瓶を手にもらうようにする。</p>

配達伝票 記入への 対応	使用備品及び共用 部分の消毒	お客様が配達伝票を書き終わる都度、共用物となるテーブル やイス、ペンを消毒する。
店内での 飲食への 対応	ソーシャルディス タンスの確保	食べるときは適度な距離を保っていただく。 ※利用者数を制限する、ソーシャルディスタンスとして1～ 2mを確保する（互いに手が届かない距離）、テーブルでは向 かい合わない、一方向に向くまたは対角線に座るなど。 ※家族など普段から一緒にいる方同士は、ソーシャルディス タンスを確保する必要はない。
	手洗いおよび消毒	飲食前には、手洗いおよびアルコールによる手指消毒をして いただく。飲食後も同様。
	食器の共用防止	大皿は避けて、飲食物は個別に提供する。
事後	使用備品及び共用 部分の消毒	人の手が触れた可能性がある箇所のアルコール消毒。 ※各ドアノブ、トイレ、手洗い場の蛇口、テーブル、イス等

(4)団体バスツアーの受け入れに関する留意点

場面	予防策	内容
出発時	健康状態の確認	ツアー出発時にあらかじめ参加者全員の体調不良の有無確認と検温を行っていただき、必要事項（日付、氏名、住所、連絡先、体調不良の有無、体温など）を記入した参加者リストを保管していただく（1か月程度）
受付時	代表者のサイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドまたは添乗員の方に、参加者全員が検温済みであり、体調不良者がいない旨のサインをしていただく。 ・貸切バスなどは代表者（幹事）の方に同様のサインをしていただき、万が一の場合に備え、氏名・住所・連絡先を記入していただく。
	健康状態の確認	体調不良や風邪のような症状などがある方、熱っぽさを感じる方、体温が平熱より 0.5℃以上高い方には立ち寄りをご遠慮いただく。（当日検温していない場合は、非接触体温計を使い検温する。）
到着時	手指の消毒	バス降車時（バス車内で）に手指消毒をしていただく。
収穫・飲食時	3密の回避	園内において団体客と個人客のエリアを分ける（テープなどで仕切る）。また、園内が混雑する場合、小グループに分かれて時間差を設けての入場をお願いするなどの対応をとる。
試食・試飲への対応	飛沫防止・共用機会の回避	<p>【試食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニール手袋をした状態でくだものをカットし、フタ付きの容器に入れてくだものを用意。提供時にフタを外し、事業者が楊枝を刺して試食していただく。共通の容器からお客様が楊枝を取ることはしない。使い終わった楊枝は専用のゴミ袋に入れていただく。 ・お客様がくだものを共通の容器から取り、ナイフで皮をむくなどして試食する場合は、一度手に取って触ったものは戻さないように依頼する。 ・ぶどうなど皮ごと口に入れるくだものの試食は、ビニール手袋をした状態で、お客様ごとに個別にお出しする。

		<p>※園主側は試食準備・提供前には手洗いおよびアルコールによる手指消毒をする。お客様には試食前、アルコールによる手指消毒をしていただく。</p> <p>【試飲】 園主側が個別に紙コップなどに注いで提供する。あるいは、お客様自らに注いでいただく場合には、アルコールによる手指消毒をしてからジュース瓶を手にしてもらうようにする。</p>
雨天時の対応	3密の回避	<p>屋内が混雑する場合は、入場制限をするなどの対応をとる。 (一部お客様はバス車内で待機していただき、時間差での入場など)</p>
感染者が出た場合	立ち寄り後日	<p>万が一、ツアー参加者から感染確定者が発生した場合には、ツアー主催者は必ず(一社)南信州まつかわ観光まちづくりセンターおよび立ち寄り施設へ報告をしていただき、必要な対応をとる。</p>